

2022年度 個人研究実績・成果報告書

2023年 4月 15日

所属	商経学部	職名	専任講師	氏名	根岸亮平
研究課題	金融商品に係る減損会計の研究—新型コロナウイルス感染症による影響の検討—				
研究キーワード	会計、金融商品、減損、 金融危機、	当年度計画に対する 達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	8.働きがいも経済成長も	9.産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>本年度の研究成果の概要は、下記のとおりである。</p> <p>本年度は、予想損失モデルの適用開始に伴う企業業績への影響を分析するために、各国における予想信用損失についての研究成果について整理を行った。</p> <p>予想損失モデルは、信用損失引当金のプロシクリカリティを低下させ、将来の銀行リスクをより予測可能性を高めることが示されているが、一方で当初期待されたほどプロシクリカリティを低下させているわけではない可能性があることが示唆されている。</p> <p>そこで本研究では、まず金融商品に係る減損モデルのプロシクリカリティに関する研究のレビューを行い、それぞれの結論が異なる要因について検討することにより、今後の研究上の課題と展望について考察した。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】特になし</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>「金融商品に係る減損によるプロシクリカリティへの影響—先行研究における議論を手掛かりとして—」『千葉商大論叢』第60巻 第2号（2022年11月）pp.155-164.</p> <p>「会計教育における信頼ゲームの適用可能性」『会計教育研究』会計教育研究 Vol.9（2023年3月）pp.14-19</p> <p>【学会発表等】特になし</p> <p>3. 主な経費</p> <p>論文作成のため、主にPCやソフトなどの購入・書籍代等に使用した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>特になし</p>					

(本文は2ページ以内にまとめること)